

1. 事業概要

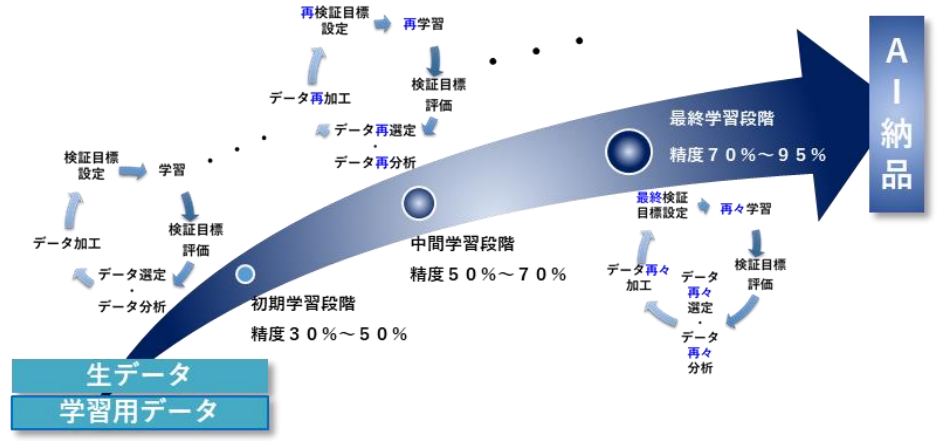
○民生分野においてChatGPTに代表される生成AIなどAI関連技術の進展が目覚ましいなかで、防衛省としてAIの活用を推進するには、民生分野の知見をいかに取り込むかが重要。

○他方、AIには、一定の誤りが含まれることにまつわる信頼性の懸念や、学習データの偏りなどに起因するバイアスなどの課題やリスクがともなうとの指摘あり。

○そこで、課題を把握しつつ、防衛省・自衛隊におけるAI導入や、AI人材による適切なシステムの運用・維持によるAI導入効果の向上を推進するため、民間のAI開発に関する技術的知見の取得及びAIに知見を有する部内人材の確保・育成を行う。

【主な活動内容】

- ①民間のAI開発に関する技術的知見の取得
AI導入推進に係るアドバイザー役務
- ②AIに知見を有する部内人材を確保・育成
AIに係る部外委託講習



2. 論点

- ①AI導入に係るこれまでの取組及び今後の方向性
- ②AI人材の育成に係るこれまでの取組及び今後の方向性

3. ロジックモデル

アクティビティ (活動)

- ① AI導入等に対してAI導入推進アドバイザーの支援
- ② AIに係る部外委託講習

アウトプット (活動実績)

- ① AI導入推進アドバイザーの支援時間
- ② AIに係る部外委託講習の受講者数

アウトカム (初期)

- ① AI導入推進アドバイザーの助言によるAI導入事業の確実な執行
- ② 部外委託講習によるAIの知識を有する人材の増加

アウトカム (中期)

- ① 防衛省・自衛隊におけるAI導入の拡大
- ② AI人材による適切なシステムの運用・維持によるAI導入効果の向上

アウトカム (長期)

防衛省・自衛隊におけるAI導入の推進による、防衛力の抜本的強化への寄与

(参考資料)

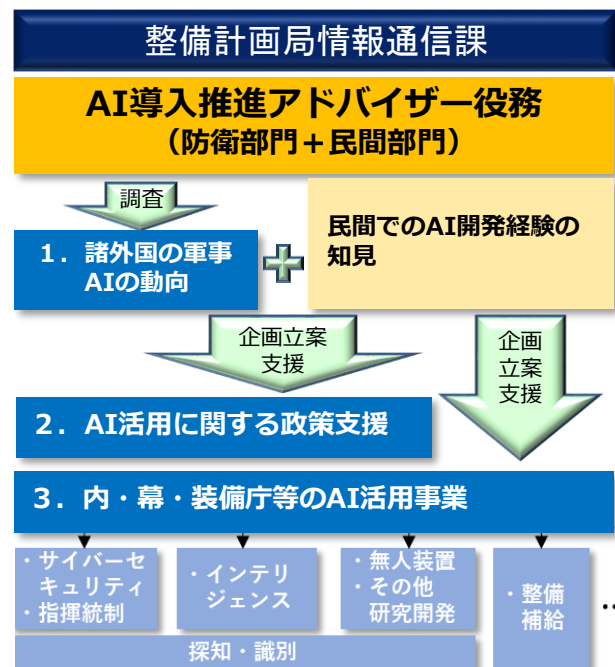
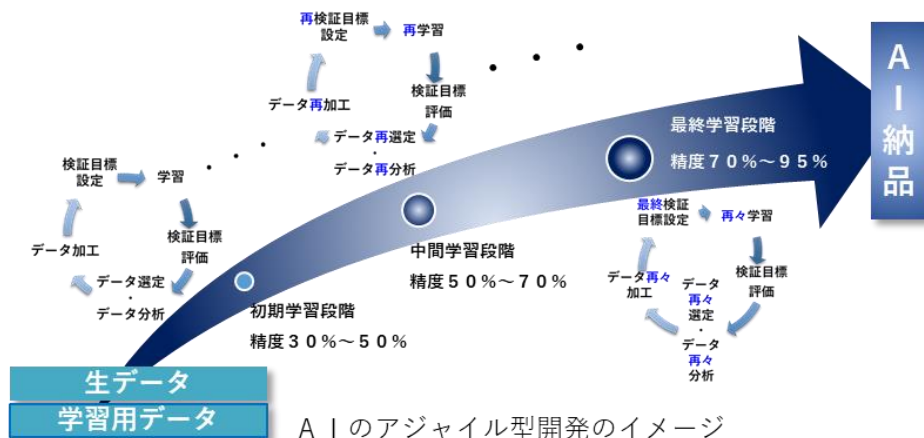
1. AIアドバイザー役務によるAI活用の企画立案支援

- 諸外国の最新のAI関連の政策や技術動向を分析し、防衛省におけるAI活用の方針や事業管理プロセスの検討等を行うため、**AI導入推進に係るアドバイザー役務を取得**。
- AI活用において広く採用されているアジャイル型開発（※）では、データサイエンスの知識・経験や、データの権利関係など、AIプロジェクトを主導した実績に裏付けられた知見が必要。
- このため、防衛省・自衛隊の**AI活用（構想検討を含む）やAI事業の管理に対する助言を得るため、AI導入推進アドバイザーによる防衛省・自衛隊の各組織に対する支援**を実施。

※アジャイル型開発：データ分析・加工、学習、検証を繰り返し、段階的に精度向上を行う開発手法

実施項目

1. 諸外国のAI導入に関する政策等に関する動向の調査
2. AI活用に関する方針検討に関する助言等
3. AI活用に関する構想検討への助言等



AI活用のための内部人材の育成及び外部人材の確保

AI適用システムは、逐次学習させていくことにより性能の維持・向上をさせていく必要がある。

そのため、AIエンジニアやデータアナリストといったAIに関する知識を有する人材が必要である。

民間では、AIの研究者（①最先端のAI研究者、②実用的AI研究者）と、AIエンジンを利用して業務の目的別にAIを組み込むAIの活用者が存在する。防衛省においては、特に

- ③AIを適用する業務に知見を持つデータ分析要員、
- ④用途に応じてAIエンジンをカスタマイズ、学習、評価を行うAIエンジニア
- ⑤AI適用システムに関するプロジェクトの企画から評価までを総括するプロジェクトリーダー

が必要となることから、部外講習等を行い基礎人材の育成を実施。併せて、②実用的AI研究者を外部より確保。俯瞰的な立場から防衛省のAI人材に指導助言を行ってもらうことで、防衛省全体のAIに関する理解を深めているところ。

AI人材のさらなる能力向上のため、現状の基礎教育に加えて、データ分析等より専門性の高い教育カリキュラム構築が必要。

